

月指導計画 1・2歳児(組)

※指導計画は食育の内容を含むこと

		施設長		主任		担任	
生活する姿	子どもの	・前月の評価・反省で明らかになった課題も踏まえ、生活する子どもの姿をありのままに捉える。	健康・安全	・健康・安全面において保育士等が配慮すべき事項。	家庭・地域との連携	行事	・主な行事
ねらい		子どもとの関わり方(保育士等の育みたい内容)		環境づくり	予想される子どもの活動	配慮・援助	
養護	生命の保持 情緒の安定	・全体的な計画に基づき、その月の自然や社会事象を考慮して養護と教育のねらいを設定する。	・子どもの生命を保持し、その情緒の安定を図るための保育士による援助や関わり	・24時間の生活が安定するように、家庭との連携を密にする。 ・子どもの育ちについての相互理解を深めるとともに、保護者との信頼関係を築いていく。			
教育	健康・人間関係・環境・言葉・表現	・長時間にわたる保育や障がいのある子どもなど、個別的な配慮を必要とする子どもについての保育士等の関わりと保護者への対応の内容。	・子どもが身に付けることが望ましい内容や、経験させたい内容。それを支えるために保育士等が行う具体的な関わり方や配慮。 ・食育の内容を含む。	【環境づくり】 ・子ども自らが環境に関わり、自発的に活動し、様々な経験を積んでいくことができるような環境構成の工夫。 ・季節の自然を活用した環境づくり。 ・発達に応じた遊具、子どもの興味を予想した遊びの環境、運動発達を促す遊びや保育士等の関わりなど。			
個別対応		↓	・長時間にわたる保育や障がいのある子どもの保育などについて、具体的な援助や配慮事項。 ・ねらいに沿った保育を展開するために必要な保育士相互の理解と他職種との連携事項を明確にする。	【配慮・援助】 ・予測される子どもの姿に保育士等はどう関わるか。 ・子どもの発想や遊びの展開を大切にしながら、楽しさや充実感を味わうには、どんな援助や配慮が必要かを考え工夫する。			
			↓	・子どもの姿を通して保育を分析し、翌月へ生かしていく。 ・一人一人の気持ちを受け止めて、適切な援助や配慮ができたか。 ・子どもが興味を持って、自ら動き出すような環境づくりができたか。			
			組運営	評価・反省			